

IRの実現に向けて 市長説明動画アンケート 栄区 結果

■ 概要

アンケート募集期間： 令和2年7月14日（水）～ 令和2年8月17日（月）

アンケート返信数： 57 人

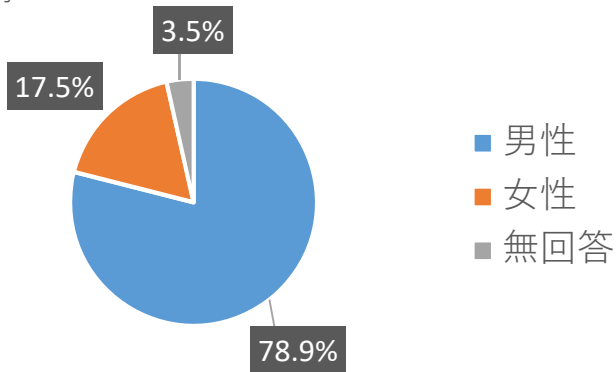
■ アンケート集計結果 栄区参加決定者

- 1 あなたのことについてお尋ねします。

性別（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	男性	45	78.9%
2	女性	10	17.5%
なし	無回答	2	3.5%
計		57	100.0%

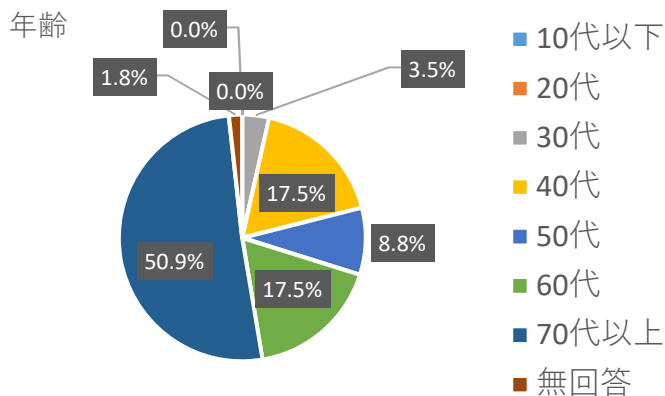
性別



男性 約8割、女性 約2割と
なっています。

年齢（〇は1つ）

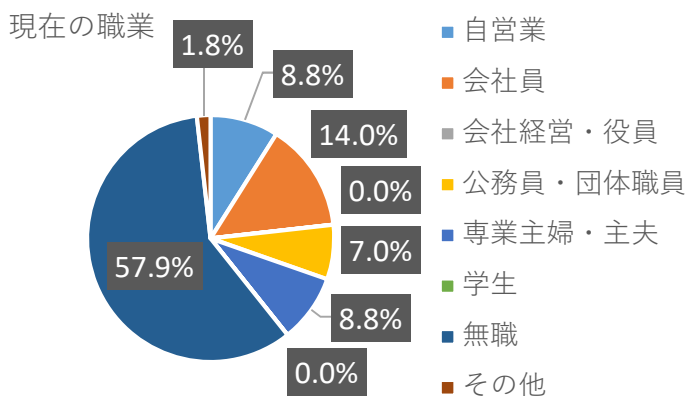
回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	10代以下	0	0.0%
2	20代	0	0.0%
3	30代	2	3.5%
4	40代	10	17.5%
5	50代	5	8.8%
6	60代	10	17.5%
7	70代以上	29	50.9%
なし	無回答	1	1.8%
計		57	100.0%



50代以上が約8割を占めています。

現在の職業（〇は1つ）

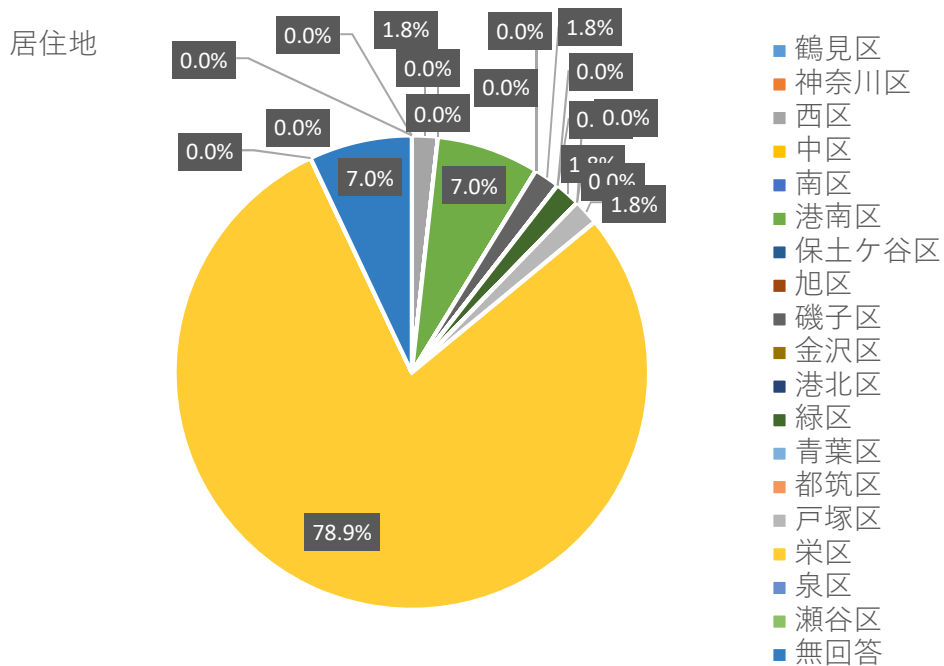
回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	自営業	5	8.8%
2	会社員	8	14.0%
3	会社経営・役員	0	0.0%
4	公務員・団体職員	4	7.0%
5	専業主婦・主夫	5	8.8%
6	学生	0	0.0%
7	無職	33	57.9%
8	その他	1	1.8%
なし	無回答	1	1.8%
計		57	100.0%



「無職」が最も多くなっています。

居住地 (〇は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	鶴見区	0	0.0%
2	神奈川区	0	0.0%
3	西区	1	1.8%
4	中区	0	0.0%
5	南区	0	0.0%
6	港南区	4	7.0%
7	保土ヶ谷区	0	0.0%
8	旭区	0	0.0%
9	磯子区	1	1.8%
10	金沢区	0	0.0%
11	港北区	0	0.0%
12	緑区	1	1.8%
13	青葉区	0	0.0%
14	都筑区	0	0.0%
15	戸塚区	1	1.8%
16	栄区	45	78.9%
17	泉区	0	0.0%
18	瀬谷区	0	0.0%
なし	無回答	4	7.0%
計		57	100.0%

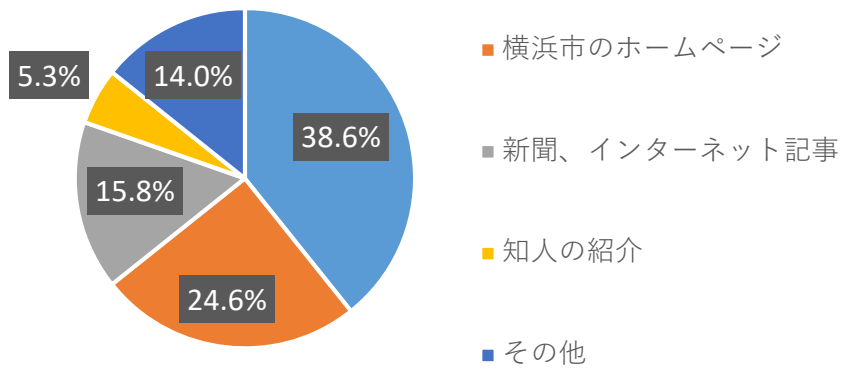


栄区が最も多くなっています。

本説明会は何で知りましたか（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	広報よこはま	22	38.6%
2	横浜市のホームページ	14	24.6%
3	新聞、インターネット記事	9	15.8%
4	知人の紹介	3	5.3%
5	その他	8	14.0%
なし	無回答	1	1.8%
計		57	100.0%

本説明会は何で知りましたか



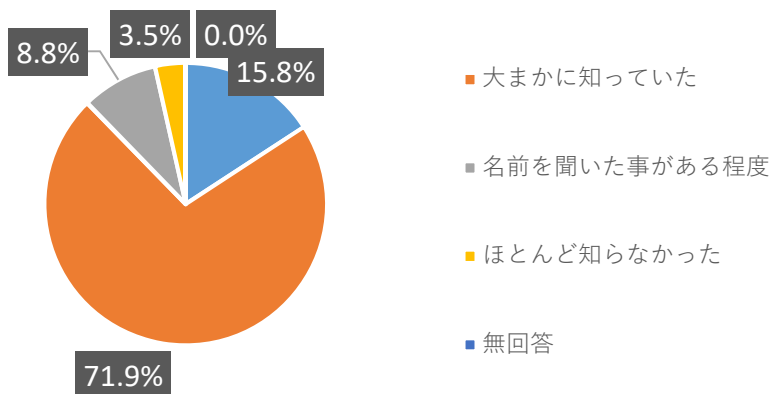
「広報よこはま」からが情報源としてもっとも高く、次いで「横浜市ホームページ」となっています。

2 IRの認識についてお尋ねします

(1) IR (統合型リゾート) については、どの程度知っていましたか (〇は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	詳しく知っていた	9	15.8%
2	大まかに知っていた	41	71.9%
3	名前を聞いた事がある程度	5	8.8%
4	ほとんど知らなかった	2	3.5%
5	無回答	0	0.0%
計		57	100.0%

IR (統合型リゾート) については、
どの程度知っていましたか

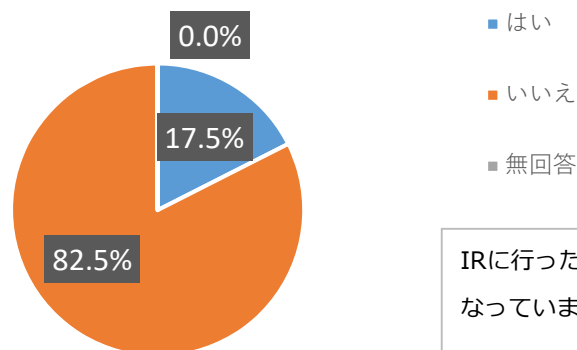


「詳しく知っていた」、「大まかに知っていた」が合わせて約9割となっています。

(2) IRに行ったことがありましたか (〇は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	はい	10	17.5%
2	いいえ	47	82.5%
3	無回答	0	0.0%
計		57	100.0%

IRに行ったことがありましたか



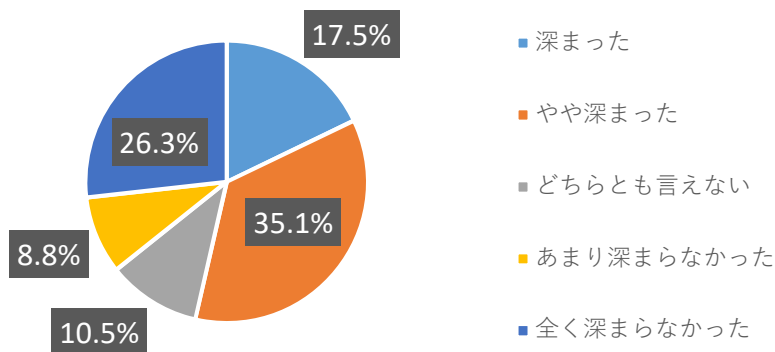
IRに行ったことがある方は約2割となっています。

3 本日の説明を聞いた後の状況についてお尋ねします

(1) 今回の説明会を聞いて、IRへの理解がどのように深まりましたか (○は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	深まった	10	17.5%
2	やや深まった	20	35.1%
3	どちらとも言えない	6	10.5%
4	あまり深まらなかった	5	8.8%
5	全く深まらなかった	15	26.3%
なし	無回答	1	1.8%
計		57	100.0%

今回の説明会を聞いて、
IRへの理解がどのように深まりましたか



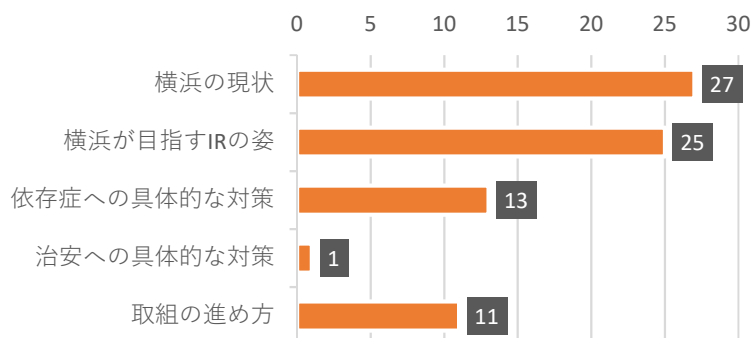
「深まった」、「やや深まった」合わせて約5割となっています。

(2) 理解を深めることができた内容は何ですか (○は3つまで)

有効回答者数： 57

回答番号	項目	回答数
1	横浜の現状	27
2	横浜が目指すIRの姿	25
3	依存症への具体的な対策	13
4	治安への具体的な対策	1
5	取組の進め方	11
6	該当なし	15

理解を深めることができた内容は何ですか



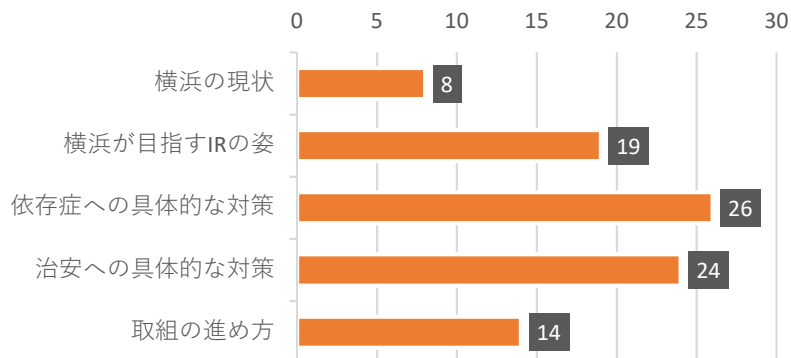
「横浜の現状」、「横浜が目指すIRの姿」の順となっています。

(3) 分かりづらかった内容は何ですか（〇は3つまで）

有効回答数： 57

回答番号	項目	回答数
1	横浜の現状	8
2	横浜が目指すIRの姿	19
3	依存症への具体的な対策	26
4	治安への具体的な対策	24
5	取組の進め方	14
6	該当なし	7

分かりづらかった内容は何ですか



「依存症への具体的な対策」「治安への具体的な対策」、「横浜が目指すIRの姿」の順となっています。

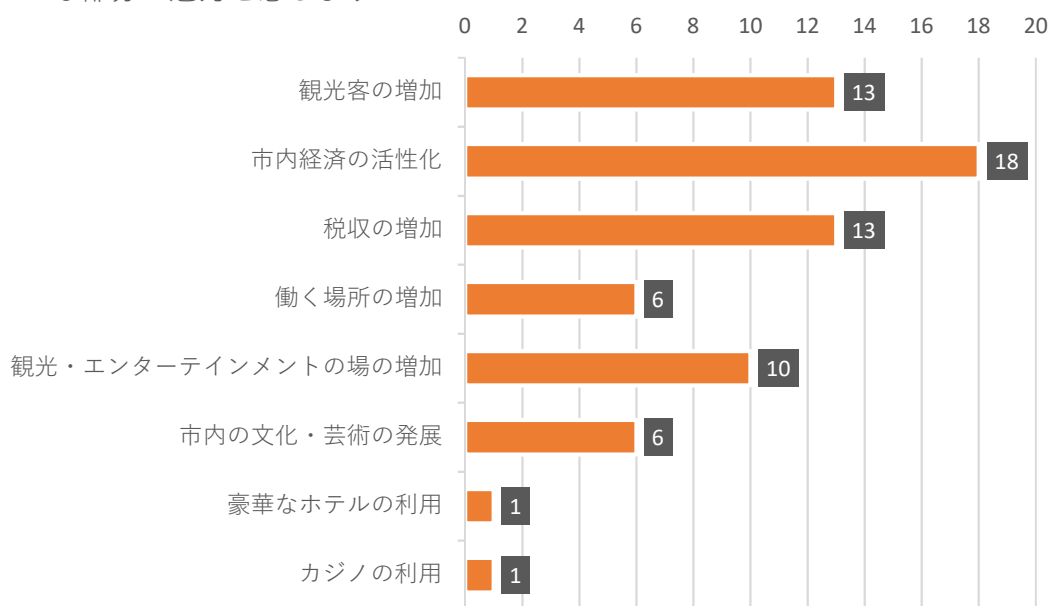
(4) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、
IRはどのような部分に魅力を感じますか（〇は3つまで）

有効回答数： 57

回答番号	項目	回答数
1	観光客の増加	13
2	市内経済の活性化	18
3	税収の増加	13
4	働く場所の増加	6
5	観光・エンターテインメントの場の増加	10
6	市内の文化・芸術の発展	6
7	豪華なホテルの利用	1
8	カジノの利用	1
9	その他	6
10	該当なし	24

※その他 6件の内容については、別紙を参照してください。

あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に魅力を感じますか



「市内経済の活性化」が最も多く、同数で「観光客の増加」、「税収の増加」となっています。

3- (4) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に魅力を感じますか。

9 その他

外国のカジノ業者に国益を吸い取られ、新型コロナウイルスの無法地帯となりかねないカジノが無い
IR!

インバウンドに頼る、内需を外資に喚起させる政策には魅力を感じない。

博打を推進して暴力団に助成することが横浜市の特技。

計画されているサイトのスペースは小さすぎます。これではまともなIRは無理

魅力はない

これまでの説明内容だけでは判断できない。

市民としてまったく魅力を感じない。

都市としてのイメージ・魅力アップ

派手なアピールだけで本質的な魅力は感じられない。

カジノ付きのIRは危険であり、魅力は無い

商業展示施設の増加による集客と、それに伴う市内関連業界の発展

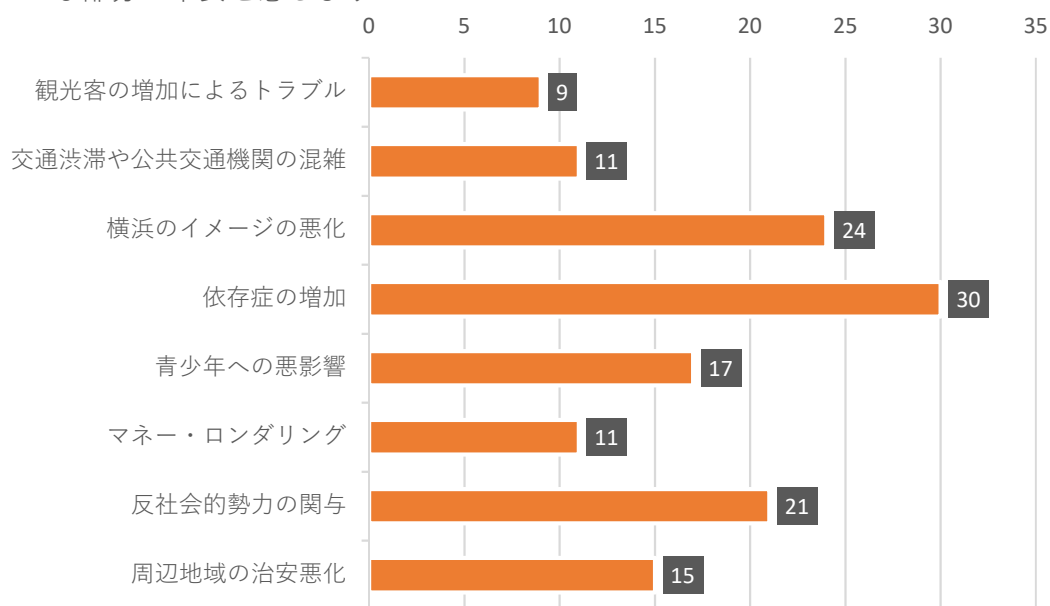
(5) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、
IRはどのような部分に不安を感じますか（〇は3つまで）

有効回答数： 57

回答番号	項目	回答数
1	観光客の増加によるトラブル	9
2	交通渋滞や公共交通機関の混雑	11
3	横浜のイメージの悪化	24
4	依存症の増加	30
5	青少年への悪影響	17
6	マナー・ロンダリング	11
7	反社会的勢力の関与	21
8	周辺地域の治安悪化	15
9	その他	7
10	該当なし	2

※その他 7件の内容については、別紙を参照してください。

あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に不安を感じますか



「依存症の増加」、「横浜のイメージの悪化」、「反社会的勢力の関与」の順となっています。

3- (5) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に不安を感じますか	9 その他
外国のカジノ業者に国益を吸い取られ、新型ウイルスの無法地帯となりかねないカジノが無いIR！	
事業の継続性	
IR成立ありきで話が進んでいること。ここまで反対意見が大きく出ており、市長はこの計画を反故する条件も示さず、曖昧な表現で回避しようとしているようにとれてしまう。	
治安の悪化が望ましいのか？	
対策については信頼しています	
市長の経済対策へのリーダーシップは決定的に力不足という事実。	
想定通りの収益があげられないことによる、さらなる市民への負担増	
永続性	
横浜イメージ悪化、治安悪化、観光・ビジネス客のトラブル増加	
カジノ問題	

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

新型コロナウイルスで市民が不安がっている真っ最中に、市として具体的対策（PCR検査等）も説明ない中、市民不在のカジノ付IRの話を進めるとは！選挙では明確にせず、裏切り行為は許せない！！内閣より酷い市政だ！！

いつまでIR推進を続けるのか。早くIRを取り止めてほしい。カジノで稼ぐなどの発想から健全な市政を構築する方法をよく考えてほしい。説明のためのHPを作るなど無駄使いをやめてコロナにまわしてください。●●に舵を切って欲しい。カジノで稼ぐなどの発想を捨てて、健全な市政を進めるかよく考えてほしい。

具体的な施策には、時間軸と規模の説明が別途必要と考える。英語の字幕版必要ではないか？IR参入はグローバル市場に参入するという。海外の方も見れるので。

コロナ禍を受け、インバウンド客に頼るIR事業は厳しいのではとの質疑があったが、これについて来場者数の見直しや施設規模の見直しなど具体的な策をお答えいただき良かったです。また今後のスケジュールと記載があったが「何年ごろ」等の記載がなくぼんやりしていると感じました。

今後を見据えた市長の攻めの姿勢には共感します。

他自治体との比較において観光資源、企業数、人口の寡多等にスポットをあてられていましたが、多様な地域性を踏まえたサステナブルな問題解決の施策提示があつてこそ、更なる無い物ねだり（IR）が説得力を持つものと思いました。

今回の説明内容では、IR誘致失敗→お先真っ暗という印象です。

IR法制がもともと沖縄の経済を支えるために、外国人裕福層をターゲットにした誘致政策だったはずが、いつの間にか全国に飛び火したものとなっている。

そもそも国を挙げてのインバウンド政策もおかしい話で、観光庁の統計白書でも2018年の旅行消費額27.4兆円のうち訪日外国人消費は5兆円（18.2%）で、残り8割以上は日本人旅行者による消費である。優先順位で取るべきは内需拡大ではないか。イメージでインバウンド政策を声高に謳うに根拠が乏しいと感ずる。

日本は内需で経済を支えている国であり、インバウンド政策をとるのは一般的に外貨を獲得したい後進国と言われる国だと認識している。IRは日本の取るべき政策としては後ろにまわす政策と言える。

covid-19の対応に追われる中、ムービーでの配信ありがとうございました。

この時期での配信なのでcovid-19の対策費用なども公表されていましたが、点での対策ではなく、線での継続的な対策についてお聞きできればよかったです。

すでに実施されているテイクアウト&デリバリー横浜は既存の地元企業を活かすいい対策だと思います。もう一歩踏み込んで、デリバリーできないお店と配達をするお店（牛乳屋さんなど）とをマッチングさせて、これまで実現できなかったデリバリーなど行ってもいいかと思います。

カジノの設置により横浜市の増収820～1,200億円を本当に達成できるのか？

説明で市長は収入増の面からIRの必要性を強調されていたが、入るを図ると同時に出づるを制することも重要と思う。財政が厳しいのであれば、まずは市長、市議員、市職員の歳費、給与削減など、自ら身を切る改革を推進すべき。（民間企業であれば当たり前のこと）

また、今回のコロナで明らかになったことは、インバウンドに頼る経済は脆弱、ということではないか。国内需要喚起の起爆剤がIRとはあまりに短絡的な発想ではないか。まずは、横浜が持つリソースの最大活用化方策を示したうえで、それでもギャンブル依存症、反社会勢力、など様々なリスクのあるカジノ付きのIRが必要、という納得できる理由が必要であると思う。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

自動車会社が大赤字なので市長を辞めて自動車販売を手伝ってやるほうが世の為人の為だ。

(8月現在) コロナ禍による世界中の混乱が落ち着いてから、改めて必要かどうかの是非を問うべき、これから起るであろうコロナ不況が、重くのしかかって来ないか？

一部の海外IR事業者も横浜から引き上げ、横浜に本社を移転してまで、IR推進に協力した、鉄道会社の今期の大幅減収(役員全員:報酬一年間大幅カット)、自動車会社の6700億円の減収、両社は社員も苦しんでいます、横浜市内の中小企業もコロナでかなりのダメージを受けてると思います、横浜市が単独でIRに突き進む事を考え直してもらいたい。

横浜の経済活性化や税収増加にはIRが必要不可欠だと思うので課題を克服して実現してほしい。また、日本の都市で最もIRが似合うのは横浜だと思う。

IRをやらなければ・・・というところで話が進んでしまっているが、無くても十分横浜はやっていけます。まずは、IRが本当に必要なものかどうか、そこからの検討をすべき。

シンガポールは都市としての発信力や魅力が横浜とは比較にならない。シンガポールが今の地位を築く要因の一部としてIRの存在を否定するつもりはないが、政治、金融、情報、港湾運営、空港hubなど多方面の総合的な努力の結果。国に首根っこを押さえられている横浜は逆立ちしても真似できません。IR誘致に血眼になる前に、国から地方への権限と財源移管実現に尽力すべき。その後の課題としてIRに取り組むなら賛成します。因みにマカオは中国の動員政策で、経済的には潤っているのですが、IR地区は、お世辞にも魅力的とは思えません。

IRの経済的効果は想像できるが、新設する目的が理解出来なかった。まず、みなとみらい21には劇場こそないが、ホール、ホテル、レストラン、遊園地が既にあり、これらの改修ではなく、新しく同様の施設を作ることにどのような意味があるのか。既存の施設のPRや改良に、どの程度市は努力してきたのか、感じる事が出来なかった。そもそも、外国人が統合型リゾートに来訪することが本当に見込めるのか、アンケートを基にしたデータを示してほしい。

また、宿泊者が少ないから消費が少ないという理論もホテル等一部の産業に限定されたことで、良く分からず、東京から宿泊客を奪えないのは結局は地理的利便性の問題なのではないか。

観光地づくりばかりに目を向けるのではなく、横浜野菜や果物のPR、新羽の寒素麺復活など第一次、第二次産業の活性化を通じた経済発展を促してほしい。

横浜のIR誘致に賛成の方はどの程度いますか？住民投票で民意を聴くべきと考えます。依存症調査の比率が0.5%との紹介がありましたが想像以上に多く、驚きでした。

地方自治体がけん引するだけでは、IRの実現は難しい。居住者に悪影響を及ぼさない土地で、市民が恩恵を得るような立地条件を妥協なしで探すことが重要。

IRについては賛成だが、今の段階で民間を含んで具体案を練ってほしい。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

ギャンブル依存症の人間或いはその予備軍が顧客の大半となるとされるカジノに依存してIRを推進する理念そのものが受け入れがたい。

今回の説明ではプロジェクトの現実的な収益見通しが全く示されていない。

ギャンブルを健全な娯楽と考える（依存症でない）国内の富裕層がカジノの顧客の6-7割を占めてくれるとのバラ色の予想はどのように作られたのか？

国内での依存症対策をやればやるほど、収益源は外人にならざるを得ず、中国人の鉄火場の様相のマカオのグロテスクなカジノのようなものが横浜に出来てしまうリスクがある。

横浜市の将来的な財政悪化の問題はよく理解出来るが、その解決のためにはカジノしかないのでしょうか？

市長が未来永劫に責任を持てますか？みなとみらいにテーマパークを作ればよいことです。カジノを誘致することで後には戻れない悪影響をもたらす。

ただでさえ福祉に疎い横浜で、人口は増えません。元々魅力がないのです。IR事業で中小企業はつぶれるでしょう。

横浜市のリケーションのさらなる活用方法としてカジノを含まないエンターテインメントの場を設置するほうが、横浜のクリーンな港街のイメージが継続確保できると思います。それには、既存の港北ニュータウン等の同じような、どこにでもある商業施設が複数あっても魅力や集客が分散されるだけで満足いく街作りをしているとは思えない。IRよりも先に今の横浜の現状を見直し、まず地元住民が満足いくようなすばらしい街作りをお願いしたい。

横浜市の現状、将来の不安要素についてはよく分かりました。しかし、人の博打の負けで財政を潤すような都市になってほしくありません。人の不幸によってではなく、人の幸せによって成り立つ都市であってほしいと思います。横浜にカジノは要りません。カジノだけでなく、次々と大規模開発に乗り出す市長の施策にも賛同できません。

1. 横浜市の税収が悪いのは、市行政の努力不足
2. 税金の使い方が悪いので、ふるさと納税で他市の支援を行っている
3. カジノへの掛け金は、競馬やパチンコなどと異なり桁数が2～3桁違うことが分かっていないし、その結果の家庭破壊や犯罪発生をも認識しないように逃げている。
4. 不良外国人（見た目にわからない人）やカジノ客が負けて起こす犯罪を防ぐ手立ても逃げている。ハンブルグの朝にカジノから吐き出されたカジノ負け組の姿を見ると、横浜市の港地区であるような情景を起こしてはいけないと思う。

横浜市はIR以外にも旧米軍上瀬谷通信施設の跡地にテーマパークを中心とした複合施設や新たな劇場整備の検討を進めてますが、これらとの関連性はどうなっているのですか？例えば、横浜IRの中に新たな劇場整備を組み込むのか別に考えているのか、もし別ならどうして別なのかその理由を知りたいです。

説明会を開催してほしい。

約束した市長出席の説明会は、工夫をしてコロナ禍でも約束通り実施してください。過去の説明会での不測な言動・行動を中止の理由にしていますが、このような行動の良しあしは別として、これも市民のIRに対する現時点の理解度を図る重要な尺度の一つです。このような現実から逃げるといことは、横浜市は真面目に市民の理解度を高める気はなく、形式的に説明会を実施すればよいと考えていると判断せざるを得ず、大変残念です。比べ物にならないくらい大人数が参加して毎年必ず不測の事態が発生する成人式は、市民の要望が多いということで来年実施することを市長は決めたそうですが、判断が矛盾しています。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

カジノありきに反対。横浜の魅力を活かした、カジノ抜きに統合型リゾートを考えて欲しい。

「要は、お金のためにIRを作るのね」という印象だけが残った。「金のために賭博場を作るのか！」という主張は、理屈ではなく共感されやすい。特に横浜市民は、プライドが高く、経済基盤の弱さへの危機感が薄いので、「金のため」では乗ってこないと思う。

PRビデオはあるのだから、市長はそれとは別の話、「横浜市をこういう街にしたい」という夢やビジョンを語った方がよかったのではないかと。「マリナーベイ・サンズの写真を見れば、「カジノがあるから行きたくない」ではなく、「一度は行ってみたい」と思う人が多い。そういう「世界中の人があこがれる街」にしたい」とか。

反対派の意見にも丁寧に耳を傾ける必要があると思います

住みたい都市では15年連続No.1を続けている横浜市にカジノをもって来る必要性は全くない。経済的理由？そのためにカジノを導入する？そもそも「ギャンブル依存症等基本計画」があるということ自体カジノが与える人間の弱さからくる社会問題発生を認めているということ。カジノは全体の床面性の3%以内ということを強調していますが、全体の収入の80%以上はカジノからという見解もある。「依存症・治安などへの具体的取組」などカジノがなければ必要ない。そのような社会を「SDGs 未来都市」と述べる資格すらない。「持続可能な賭博行為」を推進することに行政が手を貸す将来に未来はない。

Topはそのような環境を作らないということ。

横浜市の財政状況の未来については良く理解できました。しかし、その対策の主力を「ギャンブル」に頼る事には、どうしても納得できません。ギャンブル収入によって運営されるIR施設は、果たして将来の健全な財政政策と言えるでしょうか。国が定めたIR（統合型リゾート）の必須条件に「カジノ」が入っているので、外す事は出来ない・・・とも聞き取れますが、それなら国に頼らず横浜市独自の「リゾート施設」の建設に切り替えるべきです。時間がかかっても、又、経済負担が多くなっても、横浜の未来のためなら全横浜市民は協力を惜しまないと信じています。

結論：IR化を目指すことに賛成。完成を20年代後半との説明であったが、可能な限り前倒しに進められたい。

理由：より良い財政なくして横浜市のは発展は望めない。IRは財源を増やすための、国内外の観光客を呼び込み、市内において消費して貰う施設となる。観光客の増加、IR施設従業員の増加（市内居住者の増加もあり得る）、これらにより市内の活性化を進め、市民生活の向上と活性化をもたらす。

どんなに説明をされてもギャンブル施設が出来ることには変わらない。

どんなに説明されてもギャンブルを正当化することには理解できない。

人々に少しでも悪影響がある施設は作ってはいけない。

外国人や一部のばくち好き日本人の財布をあてにする経済対策は、余りに安易で建設的ではない。過去横浜が貿易港で栄えたように、本質的な生産活動によって経済を立て直すプラン（知恵）が残念ながら市長には全くないということがよく分かった。

また、市長は、素朴で地道な生産活動に陣頭指揮で汗をかくリーダーではなく、都合のいい数字を並べて自己の土俵に引っ張り込む浅薄な評論家という体質がよく分かった。

そもそもIRカジノに反対です。その気持ちは、市のいかなる説明によっても心は動かされません。まして、世界的なコロナ禍で人命も経済も危機的状況にあるとき、カジノどころではないでしょう。速やかに計画の撤回を求めます。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

いくら入場規制をかけたとしてもギャンブル依存症患者は借金してでもやります。現に自分がそうでした。そうした人がとる行動で周りの家族や友人、または無関係な人でさえも犯罪に巻き込む恐れがあります。横浜市の税収が少ないのは、税金が高いわりに見返りが少なくふるさと納税に流れているためです。IRが一番求められている中学校の給食の実施ができていない現状をどうにかしてからの話だと思います。ハマ弁ではだめです。

コロナ禍が終息し、コロナ以前に想定していたカジノ・IRの収益計画が達成可能な社会経済情勢に戻る事が確認できるまでは、カジノ・IR構想は凍結すべき。それまではカジノは将来のオプションとして別枠とし、規模を縮小して各団体から提案されているハーバーリゾート計画やMICE施設の整備のみ進めるべきと考える。特にオリンピックによる使用制限もうけている商業展示施設は、仮設でも早急に整備してほしい。(展示・即売会の中止、延期で当方も影響を受けています)

横浜市にはIRは必要だと思います。反対派の過激な活動に惑わされないよう、横浜市民にIR導入の意義について、理解をしてもらえるよう、広報活動をお願いします。

省エネの実現。再生可能エネルギーの大規模利用の実現。地域熱供給の活用。蓄電池の活用。

私はIRに強い関心を持っています。閉鎖的で無知な方々はIRを否定しているかもしれませんが、横浜市の担当者方がIRを設立されたら私は是非ともIRを利用させていただきます。私はその日を心待ちしております。

反対される方が多くいらしゃる意味が良く分かりません。

IR誘致が観光強化の起爆剤となり、また文化芸術面での魅力度アップにも繋がり、横浜市への国内外からの来訪者増が期待されます。そこからの税収アップは横浜市にとって欠かせないものとなると思われます。

市の財政に将来にわたって不安があることは理解できるが、統計の比較対象がごく少数の特定都市だけであり、国内全体の中での位置が把握できないなど、今回の説明では分からないことが多すぎる。対策への一策としてIRはありうるであろうが、それは一案に過ぎず、他に行えること、行うべきことがあると考える。その中で市民からの不安の声もあるIRを推進する方針が理解できない。将来にわたるIRの経営状況や国策が変化する可能性についても考慮されていると思えない。

私は、IRを横浜市に誘致する事に反対します。カジノが儲かる、集客出来る、税収が上がるという、あまりにも安易な考えに何の裏付けがあるのでしょうか？成功例だけを見ていませんか？コロナ禍でシンガポールでさえ大きなダメージを受けています。横浜にIRをつくるのは、将来市民に大きな負担となる気がします。

横浜市への滞在期間延長が見込まれるとのことですが、IRができたとしても、旅行に来て横浜市だけにとどまる人は少ないのではないのでしょうか。遠方からの旅行者ならなおさら都内などと併せた行程を希望すると思います。また、本当に正味で利益が得られるのか不安です。

本来は直接伺いたかったのですが残念です。以前行われた市民説明会にも参加させて頂きましたが、その時のご説明内容と今回の動画はそれ程大きく変わらなかったのが気になりました

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

ビデオや説明会の質疑応答資料に目を通して感じたのは、論点をズラした不誠実な応答内容や、その姿勢から見える市長のさもしさで、消化不良の不信感のみが残りました。浅薄、不誠実さの現れの一つは、「丁寧にIRの理解を深める説明」と市長は言うが、反対者はIRを理解してないのではなく、勿論ギャンブルの安易な取り込みへの嫌悪感もあるが、一方で市の抽象的お題目ばかりで、具体性や実効性が見えない杜撰で幼稚な計画や、“IRは白紙”からIR推進への市長の豹変説明で、全く理の欠けた御託を並べる不誠実さに不信感を募らせている部分が大いのに、その点を恐らく分かっているが答えずに済ますビデオ内容の、不誠実、卑劣さには呆れました。

USJがある大阪と比べるとナンセンス!! 生産人口 235万→162万 45年後の例なんて全然リアルではない! まずは10年後20年後で表すべき! 国民を欺き 嘘をつき ごまかし逃げ回る今の国を見ていると 国が管理するカジノ管理委員会も残念だが 100%信じる事など出来ない!

説明については複数行っていく事

横浜に、横浜らしさを活かした都市型Resortの誕生を希望しています。現状Integrate Resort = Gambleのイメージが強く残念です。上記イメージ (IR = Gamble) を弱める継続的な努力を願う次第です。

横浜市が将来の課題、問題点としている点は、全国的な問題であり、横浜だけの問題ではないです。横浜は集客力もあり、カジノ抜きのIRにすべきです。

税収増加は良いがIR自体がギャンブルに思える。現在の生活保護も給付すべきでない人間に甘すぎる。